

## ■不登校（支援）対策三つの分類

### 事後対策

すでに不登校になってしまっている児童生徒と、その保護者を支援をどうするか。

- ・教育支援センター（適応指導教室）
- ・スペシャルサポートルーム（別室）
- ・conne
- ・スクールカウンセラー
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・メンタルフレンド
- ・オンライン配信（IT機器を利用した家庭学習）
- ・フリースクールやオルタナティブスクール
- ・公費助成  
など

社会的接続を  
切らさない取組  
  
不登校を減らす効果は  
あまりない

### 事前（生まない）対策

どんな子どもでも過ごしやすいように学校内の環境や運営をどう改善するか。

- ・特別支援学級を中心にした不登校対策（横浜市中学）  
誰もが働きやすく、居心地の良い職場づくり  
定期モニタリング／SC・SSWによる再アセスメント  
特別支援教室運営にすべての教員が関わる

➡ 基本的には、「安心」と「楽しい」（+「わかる」）環境を増やしていく方向

### 教育制度そのものの見直し

未来を見据えて、教育制度そのものをどう根本的に変えていくのか。

- ・学級制の廃止／見直し
- ・一斉授業／一斉カリキュラムの見直し
- ・学習内容・カリキュラムの根本的な見直し
- ・教育基本法そのものの法改正

国・県、国民的合意が必要なものが多い。一自治体で取り組むのは難しいものが多い

## ■なぜ不登校になる子どもが増加しているのか

原因

「安心・安全・便利・快適」な  
社会への変化

結果

子どもの育ちの変化

今の子どもたちは「打たれ弱い」と言われるが、むしろ、心理的タフさ獲得期間の長期化と考えるべき

この子どもたちの育ちの変化に、学校運営（の変化）が対応できていない  
（対応できない要因は教員の多忙さが最も大きいと感じる・・・増員と仕事量の削減求む。）